

災害に備えて マイ・タイムラインを作成しよう

近年、台風などによる記録的な大雨が全国各地で相次ぎ、大規模な水害や土砂災害が発生しています。本町でも、過去に台風の影響により災害が予想される場合に避難指示を発令しました。

災害による逃げ遅れを防ぐためには、平時から水害に備えた自分の避難のためのスケジュール表である「マイ・タイムライン」を作成しておくことが有効です。

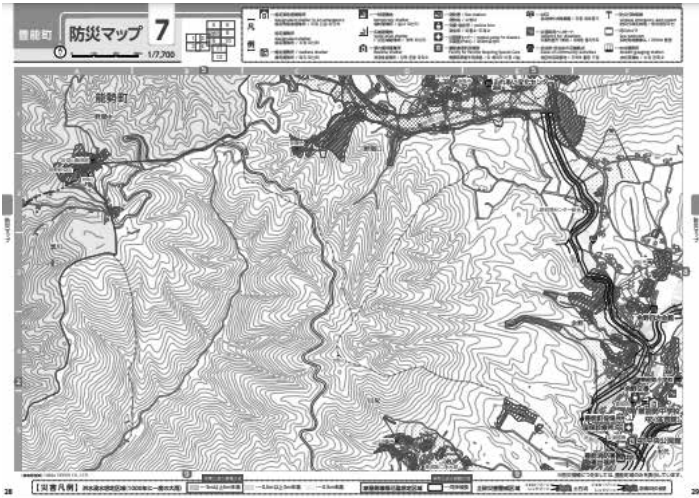
台風の接近などで、避難情報の警戒レベルに応じ自分自身が取るべき行動をあらかじめ時系列に整理しておくことで、いざという時の避難に役立ちます。

防災の3K

- 1 災害の危険に **気づく**
- 2 避難や備えを **考える**
- 3 命を守るために **行動する**

防災マップで自宅の災害リスクを確認しよう

避難するタイミングを確認しよう



令和6年3月作成



豊能町総合
防災マップ

防災マップとは、浸水や土砂災害の危険がある地域や災害発生時の避難先（指定避難所など）が示された地図のことで、市町村ごとに作成されています。
豊能町の洪水浸水想定区域を確認できる防災マップは冊子として全戸配付しているほか、町ホームページでも確認することができます。自宅がある場所に色が塗られていたら、災害が発生する可能性がありますので、避難するタイミングを確認の上、マイ・タイムラインを作成しましょう。

● 避難情報の種類

町が発令する避難情報には、「高齢者等避難」「避難指示」「緊急安全確保」の3種類があります。これらの発令時の状況と、町が皆さまに求める行動をあらかじめ理解しておくことが「あなたとあなたの大切なひとの身を守る」ことにつながります。

- ▶ 市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4（避難情報）で必ず避難しましょう
- ▶ 気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等 (警戒レベル)			河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報 大雨特別警報(土砂災害)
<警戒レベル4までに必ず避難!>				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警戒情報 大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	大雨・洪水・高潮 注意情報	2相当 氾濫注意情報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報	1相当

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

小中学校や公民館等に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「避」を「避」けること。下の4つの行動があります。



町では、みなさんに避難を促すために、避難情報を発令しています。
自分自身が「高齢者等避難（警戒レベル3）」と「避難指示（警戒レベル4）」のどちらの情報もきつかけに避難が必要かを考えておきましょう。
● **高齢者等避難（警戒レベル3）**
高齢者など、避難に時間がかかる方は避難開始
● **避難指示（警戒レベル4）**
災害発生のおそれが高く、速やかに避難開始


風水害から身を守る！

「マイ・タイムライン」をつくってみよう！

我が家のタイムライン

① (家) 

① 家族の名前を記入

② 避難先 

③ 避難先までの移動手段 

④ 避難先までの移動時間 

② 風水害が発生した時の避難先は？

③ 避難先までの移動手段は？

④ 避難先までの移動時間は？

⑤ 警戒レベル1、2で避難する時に持っていくものを確認

知って備える	住んでいる地区の災害リスクを知る	【記入例】●住んでいる地域：土砂災害警戒区域、○川浸水想定区域
	避難場所・経路を調べる	●避難場所：○小学校 ●移動時間：30分 ●移動手段：徒歩
	警報等の内容を調べてどんな行動をとるか知る	●避難開始のタイミング：高齢者等避難が発令されたとき
	災害発生前後の情報収集方法を調べる	●情報収集先：ラジオのニュース、大阪府HP
	避難スイッチ ※前もって避難するタイミングを決めておこう。	●警戒レベル3で必ず避難 ●○川の水位が○mを超えたら避難する等

⑥ 避難するタイミングを決めて○印をつけておく(警戒レベル3、4)

状況	警戒レベル	あなたの行動
⑤ 気象状況悪化のおそれ	レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表)	【記入例】●テレビやインターネットで天気予報をチェック ●非常用持出品を確認
	レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)	●避難場所や交通手段を再確認 ●携帯電話の充電を確認
⑥ 災害発生のおそれ	レベル3 高齢者等避難 (町が発令)	●離れている家族や知人に避難することを連絡 ●避難場所へ避難開始
	レベル4 避難指示 (町が発令)	●避難完了 ●ラジオ、携帯電話等で最新の状況を確認
	レベル5 緊急安全確保 (町が発令)	●避難が出来ない時は2階や屋から離れた部屋に移動



水平避難と垂直避難

風水害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。

そのような場合には、避難所への移動（水平避難）だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動（垂直避難）を行う判断も必要です。

また、土砂災害の危険性がある時は、屋内でも山と反対側に避難を行いましょう。

警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。

「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

避難先は町の指定避難所等だけではありません。安全な親戚・知人宅等に避難することも考えてみましょう。

問＝総務課 ☎739-3415